

速やかに安全な避難場所へ！ 津波避難デッキがいよいよ着工！



工事概要

橋長 372m 幅員 4.0m
工期 平成26年12月～平成28年3月

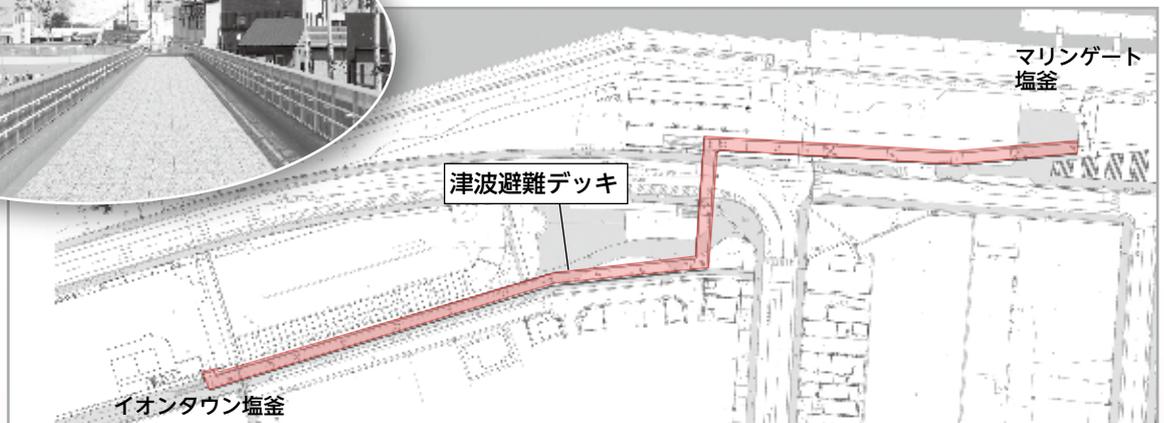
マリゲート塩釜と本塩釜駅周辺の商業施設をつなぐ「津波避難デッキ」は全長372m。工事業者が決まり、着工に向けて準備を進めています。津波避難デッキの整備により、地域の方々や、地理に不案内な観光客などを、速やかに安全な場所へと避難・誘導することができます。工事は春から始まり、平成28年3月までの完成を目指します。

▲計画地



▲完成イメージ

▼津波避難デッキ平面図



問
復興推進課都市基盤復興係
☎364-1111(内線346)

と
の
「津波避難デッキって？」

なぜ津波避難デッキを作るの？
津波が発生したときに、地理に不案内な観光客や車を運転中の人も速やかに一時避難できるようにするためだよ。

防潮堤を整備しても津波の危険があるの？
防潮堤は、レベル1(レー)と呼ばれる数十年から百数十年に一度の津波を想定して作られるものだから、東日本大震災の時のような、千年に一度といわれる津波を防ぎきるものではないんだって。

防潮堤に頼るだけでなく、まずは避難することが命を救うのね
それから、マリゲートは浦戸地区の救援拠点にもなるから、デッキは連絡通路の役割もあるんだよ。

デッキを通じて、浸水しない区域に避難できるのね。
この地域は立地条件などから、土地のかさ上げによる浸水対策が難しいこともあってデッキが作られるんだよ。

沿岸部の津波対策にもいろいろあるのね。



▲入居式で内覧する入居者の皆さん
(12月26日 錦町地区)

暮らしの再建に向けて！

災害公営住宅整備の進ちょく状況

錦町地区 2・3号棟が完成・入居開始！

12月末に2号棟・3号棟が完成し、先行して入居が始まりました。3月には1号棟が完成し、錦町地区災害公営住宅の整備が完了します。

清水沢地区 造成工事を行っています

9月から造成工事に着手し、貯留槽を埋設する工事を行っています。建物の建築工事は平成27年度上半期に開始する予定です。



▲貯留槽を埋設 (清水沢地区)

浦戸地区 桂島(I期)・野々島地区で間もなく完成！

●桂島地区

北側建設予定地に仮設住宅が設置されているため、南側から着手しています。仮設住宅居住者の方には移転のご協力をいただきながら順次工事を進め、一部は3月までの入居開始を予定しています。

●野々島地区

建築工事を進めており、3月までの入居開始を予定しています。

●寒風沢地区

移転先の団地造成工事が完了し、1月から建物の建築工事が始まっています。

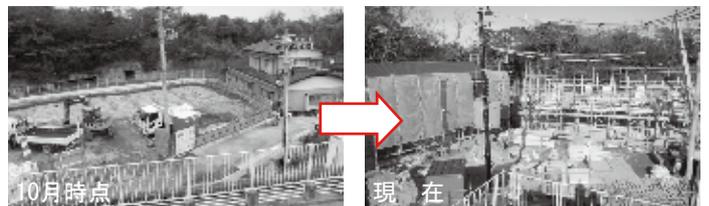
●朴島地区

かさ上げ工事が完了し、道路などの整備を進めています。

▼桂島地区



▼野々島地区



▲寒風沢地区



▲朴島地区

問 復興推進課住宅基盤復興係 ☎364-1111 (内線342)

浦戸の定住促進！

漁業後継者育成拠点として！

(仮称) 浦戸ステイ・ステーションの整備に着工！

旧浦戸第一・第二小学校を改修し、漁業体験従事者などの宿泊施設や地域住民の交流施設、防災避難施設として活用する「(仮称)浦戸ステイ・ステーション」。

1階には厨房や浴室、多目的室など、2階には宿泊室などが整備されます。新年からいよいよ本格的な工事を開始し、7月までの完成を目指します。



※外観イメージ

問 政策課企画係 ☎364-1111 (内線295)